



新年度のはじまりです！

“今年は何んだか うまいきそうな感じがする”

“今年こそ いいことがおこる気がする”

例年以上に寒さの厳しかった冬もようやく終わり、校庭の桜も満開となり、新年度になってがんばろうとしている子どもたちを後押ししているようです。

新しい学年、新しい出逢い、新しい教科書……。おそらくどの子も「今年は」「今年こそ」と意気込んでいるのではないのでしょうか。

でも、時には失敗したりうまくいかなかったりする時もあるでしょう。学校はそんな子どもたちによりそい、サポートし、課題を乗り越えさせていく力を育んでいく場所です。

一人で解決することは難しいことでも、誰かにきいたり、助けてもらったりしながら、いつかは自分で解決することができる力を身に付ける。

そんな強さ、挑戦する姿を綴小の先生方は全力で応援することを約束します。



学校経営や子どもの情報配信

「Tsuzura Family」は、歴代の校長先生が発行してきた学校だよりのタイトルです。おそらく、「Family」のようにアットホームな雰囲気の綴小だからこそその名前として続いてきたのだと思います。その想いを私も引き継ぎたいと考えています。

そんな「Tsuzura Family」ですので、子どもたちのがんばりとそれに関わる先生方の姿、校長としての学校経営についての想いや考えを綴って参ります。

ホームページでは、写真で学校生活の様子を紹介します。（※個人を特定する写真や氏名、記載内容には、十分配慮します。掲載許可確認の上で。）

始業式で子どもたちに伝えたこと

今年度の登校日は203日、1学期は72日間あります。その間、みなさんが安全に・楽しく過ごすために校長先生からいくつかお話をします。

一つは「すなおさ」と「感謝の心」をもつことです。人に何か言われたときに「ふん、なんだよ」とか「やだ」という態度をとってしまうと、実はあなたのことを思って言ってくれているのに、相手との関係を悪くしてしまうことがあります。「やだな」と思っても、一度立ち止まり「どうしてそんなことを言われたんだろう。」と自分を振り返り、「それもそうだな」と思って受け入れる素直な気持ちを育てて欲しいと思います。また、何かをしてもらったときには「ありがとう」とすぐに言える感謝の心も育ててください。人に何かをしてもらったときは「すみません」というよりは「ありがとう」と言った方がお互いに気持ちがいいですよ。

次に困った時のことです。学校で生活していると、「勉強が分からない」「友だちとうまいかない」「そうじが上手にできない」などの困ったことが起こるでしょう。そんな時は、一人で悩まず、誰かに相談してください。学校には、「友だち」「担任の先生」「保健室の先生」「用務員さん」「職員室の先生」など様々な人がいます。困った時は、いつでも話をしにきてください。校長室には、いすがたくさんあります。困った時だけでなく、うれしいことがあった時の報告やなんでもないおしゃべりでもいいので、ぜひ来てください。ウェルカムです。

明日から本格的に始まる学校生活を明るく・楽しく・元気にがんばっていきましょう。一部省略

保護者の方へ

子どもたち同様、ご意見・心配事等がありましたら、いつでも電話・メモ・来校ください。ウェルカムです。

